

正月の俳句

をさむ

・ 湯につかり父の孤独にとどかさり (無季)

・ 寒椿私も宇中うちゆうの中に居る

・ 去る年も来る年も咲く寒椿

・ 初夢やたがらすや八咫鳥やたがらすに乗りてどこまでも

・ 初春の美空とんびに高く鳶とんび飛ぶ

・ 蜜柑みかん割きパツと光があふれ出る

・ 人変わる自然は変わらず梅の花

・ 懐なつかしさ鳩ゴロゴロの大阪市 (無季)



・平成の子らにこにことピースピース

・障害者人の言葉のありがたさ

・人生の虚妄きよもうに負けぬ靴の音（無季）

・これ丈だけの人間されどこの道を歩む（無季）

・暗き庭ほのかに匂う梅の花

